

22.スマート農業の総合推進対策

【令和5年度予算概算要決定額 1,196 (1,404) 百万円】
 (令和4年度補正予算額 4,400百万円)

<対策のポイント>

スマート農業の社会実装を加速するため、**必要な技術開発・実証**や**スマート農業普及のための環境整備等**について総合的に取り組みます。

<事業目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を实践 [令和7年まで]

<事業の内容>

1. スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証

スマート農業の社会実装を加速化するため、必要な技術の開発や現場実証等を行います。

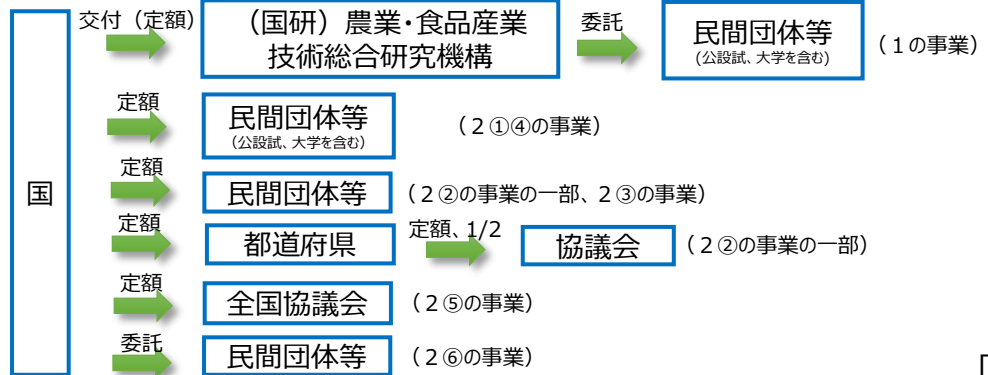
- ① スマート農業産地モデル実証
- ② 次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化
- ③ ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証

2. スマート農業普及のための環境整備

スマート農業を普及させるための環境整備を行います。

- ① 農林水産データ管理・活用基盤強化
- ② データ駆動型農業の実践・展開支援事業
- ③ スマートグリーンハウス先駆的開拓推進
- ④ 農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討
- ⑤ データ駆動型土づくり推進
- ⑥ スマート農業教育推進

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証

①スマート農業産地モデル実証

経営体の枠を超えた産地内でのシェアリングや作業集約による生産性向上やコスト低減等を実証

②次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化

畑作物や野菜・果樹等の収量安定化や省力化を実現し、新規就農や畑作物等への転換・定着を促進するための、スマート農業技術の開発・改良・実用化

③ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証

ペレット堆肥の製造・物流を最適化するシステムの構築、帰り荷となる肥料の探索、現地実証

技術開発・実証

2. スマート農業普及のための環境整備

① スマート農機

データ連携に向けた環境整備

オープンAPI

営農管理ソフト

② データ活用の体制づくりを支援

環境モニタリング装置等

産地によるデータ駆動型農業の実践

③ 我が国の優れた施設園芸の技術

スマート農業技術の進展

施設園芸の先駆的開拓

④ 自動走行農機

有識者委員会

遠隔監視による自動走行の安全技術等の検証

安全性確保策の検討

⑤ AIによる土壌診断技術の開発

土壌診断の実施

改善効果の検証

⑥ スマート農業拠点校の設置

現役農業者・教員向けの研修会の開催等

実装・普及に向けた環境整備

スマート農業の社会実装・実践

【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-7462)